

## 水谷 規男

高等司法研究科・教授

### 【研究】

2020年度の前半は、新型コロナウイルス感染拡大に対する対応等のため、研究活動に時間を割くことができなかったが、年度後半には証拠法に関する研究などに集中して取り組むことができた。

### 【教育】

コロナ禍の中で、春夏学期の授業は、高等司法研究科の刑事訴訟法応用の授業も含め、全面的にオンライン(映像及び音声ファイルのオンデマンド配信方式)によらざるを得なかった。秋～冬学期においては、学部の犯罪者処遇法、高等司法研究科の少年法等の授業を対面で実施することができた。

### 【管理運営】

研究科長として研究科の業務を統括した。会議のオンライン開催など前例のない事態も生じたが、構成員のサポートもあって、大きな支障なく年間のスケジュールをこなすことができた。

### 【社会貢献】

学会関係では、日本刑法学会、比較法学会の理事を務めた。いずれの学会も大会の開催が中止となる中、2021年度以降のオンライン開催の方法も含めた検討を理事会で行い、学会活動の継続のための一定の寄与をすることができた。

### 【特記事項】

年度前半は体調面での不安があり、業務に注力できない状態であったが、8月に手術を受け、術後経過も良好であったため、年度後半においては、通常の業務に復することができた。